

「企業理念」われわれは人類社会向上のベースたる働きをするものである。



てんひこ

発行所 株式会社 天彦産業

編集発行責任者 トキメキ委員会

特別号

樋口克彦氏 旭日雙光章受章祝賀会





記念品の贈呈



三喜社長



竹内前会長



武田会長



福原社長



立礼風景

樋口克彦会長 旭日雙光章受章祝賀会

平成26年9月2日(火)12時から大阪市北区中之島のリーガロイヤルホテル山楽の間で開催されました。

当日は約200人がお祝いに駆けつけて頂き、代表として全日本特殊鋼流通協会前会長の竹内誠二（竹内ハガネ商行代表取締役社長）、三喜俊典（日新製鋼代表取締役社長）、特殊鋼倶楽部会長の武田安夫（山陽特殊製鋼代表取締役社長）らが祝辞を述べると樋口会長は「今日は業界で亜流だった私を支えていただいた皆さんにお礼を言わなければならない会」と万感の思いで謝辞を述べました。

祝賀会は樋口会長と百合子夫人が壇上へ招かれた後、発起人を代表して全特協・竹内誠二前会長が登壇し、竹内前会長はまず出席者へのお礼を口にした後に樋口会長の功績について、卓越した経営手腕と若者目線でユニークな経営手法を展開しマスコミや経済誌も再三紹介されていることを話されました。

樋口会長の社会貢献について竹内前会長は他業種との積極的な交流・大学での講演・全特協では副会長として会長を支え、内外交流委員長として海外視察研修リーダーを長きにわたって務めた功績を述べた。百合子夫人の内助の功においても長年のご苦勞に感謝し、祝意を表明された。

次に来賓祝辞として登壇した三喜俊典（日新製鋼代表取締役社長）は今回の受賞に当たり百合子夫人の内

助の功・社員・家族・関係者にとって喜ばしいと述べられた。

三喜社長は旭日雙光章を英語では、太陽が昇るような金と銀の光線を発する勲章だと伝えた。

樋口会長の健康と出席者の皆様のご健勝をお祈りすると結ばれた。

続いて特殊鋼倶楽部会長の武田安夫（山陽特殊製鋼代表取締役社長）が祝辞を述べた後、全特協会長の佐久間貞介（佐久間特殊鋼代表取締役社長）の記念品の贈呈。記念品として旅行好きのご夫妻に旅行券を手渡した。

樋口会長に來賓や発起人を交えて壇上で鏡開きが行われた後、三井物産スチール常務執行役員関西支社長・大沢聡氏が「乾杯」の発声。これを合図に飲食をしながら歓談の祝賀パーティへと移った。

中締めは全特協副会長の福原實晴（南海鋼材代表取締役社長）福原氏は樋口会長から二つを学んだという。

一つは理想を貫く信念の強さ、もう一つはものすごく数字に強い点だと紹介された。

樋口会長の末永い健康と協会運営に今後ご指導いただきますと言って、三三七拍子の一本締めで祝賀会を締めくくった。樋口会長 平成26年春の旭日雙光章受章おめでとうございました。

樋口克彦氏 旭日雙光章受章祝賀会



樋口克彦氏・謝辞

本日はかくも多数の方にご出席いただきありがとうございます。感激しているばかりです。

また竹内前会長、三喜社長、武田社長には過分なご祝辞をいただきまして感激すると同時に恐縮しています。全日本特殊鋼流通協会から推薦をされまして受章に浴したわけですが、井上特殊鋼の井上会長が尽力されて社団法人化されました。そのことが大きく左右したのかなと思って、1番に井上さんに報告してお礼を申し上げなければいけないと思っていたところが昨年、12月に亡くなられてお礼を言えなかったことを非常に残念に思っております。

今もお話にありましたが内外交流委員長を12年務めさせていただきました。そのことも表彰の要素になったと思っております。私が委員長になって1番にお伺いしたところが台湾でございました。今日、台湾の春源鋼鐵からもわざわざ今日のために来ていただいております。本当にありがとうございます。

先ほどもお話がありましたが、私は内気で引っ込み思案な人生を歩んでおったんです。何とかそれを克服せなにかんと思ううち、東大阪商工会議所が青年部を作るといので参加しないかと呼び掛けがありました。参加させていただくと2年間の準備期間をおきまして青年経営研究会が発足。そのときに、これもお亡くなりになってお礼が申し上げられないんですが、私がいろいろやらせていただくきっかけを作っていただいた当時の商工会議所常務理事に「初代の会長をやれ」ということで背中を押されました。しかし、なにせまだ東大阪に行っても私は人脈も

ございませんし、土地勘も不十分でお断りしてました。しかも当時私は49歳になってまして規定で定年は50歳でした。すぐ定年ですと言うと、「じゃ、定年を55歳に延ばそうじゃないか」ということになり、お引き受けしたのが社外活動のスタートになりました。その経験が生きてきたのか、大阪商工会議所異業種交流会とか三和総合研究所異業種交流会とか、いろいろやらせていただいて、全日本特殊鋼流通協会の理事から大阪支部副支部長、支部長、副会長とやらせていただきました。

よく申し上げておったのは私は業界の本流ではありません。亜流です。この業界で板を主力に扱っているところは非常に少ない。皆さんに亜流の私を支えていただき、非常にご支援ご協力をしていただいたおかげじゃないかなと思っています。そんなことで今日の祝賀会は私が皆さんにお礼を言わなきゃいかん会という気がしています。健康に注意してということですが、幸いにして傘寿にしてまだゴルフができる身ですので、何なりとお誘いいただけたらありがたいなと思っています。本日は本当にありがとうございます。

信楽狸の七相縁喜

傘…悪事災難を避ける為、用心常に身を守る傘
顔…世は広く互いに愛想よく
徳利…徳はひそかに我につけれ
通…世渡りは先ず信用が第一ぞ
腹…大きく、落着きを持って先ず決断
金袋…お金は命の次に大切なもの。計画を立てて
尾…人生終わりが大切。尾は太く、しっかりと





樋口克彦 会長 履歴概要

昭和9年（1934年）2月19日生（80歳）

主な現職 一般社団法人 全日本特殊鋼流通協会 副会長（6月2日退任）
株式会社 天彦産業 取締役会長

<団体歴>

業界団体等

全日本特殊鋼流通協会 理事
平成6年4月～平成20年6月（14年）
全日本特殊鋼流通協会 副会長
平成20年6月～平成26年6月（3期6年）
全日本特殊鋼流通協会 内外交流委員長
平成10年7月～平成22年10月（12年）
全日本特殊鋼流通協会 運営委員長
平成22年10月～平成26年6月（3年半）
全日本特殊鋼流通協会 大阪支部 理事
平成元年4月～平成8年3月（7年）
全日本特殊鋼流通協会 大阪支部 副支部長
平成8年4月～平成14年3月（6年）
全日本特殊鋼流通協会 大阪支部 支部長
平成14年4月～平成20年6月（6年）

中小企業関連団体等

東大阪商工会議所青年経営研究会 会長
昭和58年10月～昭和63年9月
東大阪商工会議所青年経営研究会創友会 会長
平成4年10月～現在まで
大阪商工会議所住之江住吉支部 運営委員
平成6年4月～現在まで
大阪商工会議所住吉異業種交流会 副会長
平成3年10月～平成5年2月
大阪商工会議所住吉異業種交流会 会長
平成5年2月～現在まで
(株)三和総合研究所異業種交流会 会長
平成3年10月～平成8年9月
(株)商工組合中央金庫緑友会 理事
平成20年6月～平成22年5月

地元流通組合等

大阪南港鐵鋼流通協同組合 理事
平成4年11月～現在まで
大阪南港鐵鋼流通協同組合 副理事長
平成6年5月～平成10年5月
大阪南港鐵鋼流通協同組合 理事長
平成20年6月～平成22年5月
(社)大阪港振興協会 理事
平成20年6月～平成22年5月

<職歴>

(株)天彦産業 入社 昭和35年4月
(株)天彦産業 専務取締役
昭和38年6月～昭和58年5月（20年）
(株)天彦産業 代表取締役社長
昭和58年6月～平成17年5月（22年）
(株)天彦産業 代表取締役会長
平成17年6月～平成20年3月（2年10か月）
(株)天彦産業 取締役会長
平成20年4月～現在まで（6年）

<表彰>

大阪府卸団体連合会優良団体役員表彰	平成8年2月
大阪府卸団体連合会優良団体役員表彰	平成9年2月
大阪商工会議所表彰	平成13年6月
大阪府知事表彰（産業功労）	平成16年5月
大阪府中小企業団体中央会表彰	平成17年9月
大阪府知事表彰	平成21年9月

功 績 概 要

- ・（一社）全日本特殊鋼流通協会の副会長を長き（3期6年）にわたり務め、特殊鋼流通業界の発展に大きく貢献した。
- ・特に協会においては、内外交流委員長を長く務め、その間アジアを中心に海外視察団を派遣し、業界の海外進出に尽力した。
- ・さらに、地元大阪においては、当協会の大阪支部の役員を長く務めるとともに、中小企業関係団体や鐵鋼流通組合などにおいても要職を務め、地元の発展に寄与した。
- ・社業においては、130余年の歴史を有する(株)天彦産業の4代目として、ユニークな経営により会社を発展させた。

ホテルグランヴィア京都 祝賀会 (親族出席)



会長夫妻

平成26年9月21日(日)12時からJR京都駅に直結したホテルグランヴィア京都にて樋口寛美、樋口邦彦、樋口友夫3名の発起人による親族での旭日雙光章受章祝賀会が開催されました。

80名の参加者を代表され、樋口友夫(㈱天彦産業代表取締役社長)が、祝辞を述べ続いて山中満様(碧陵会)、杉原信良(仲人受会、㈱天彦産業専務取締役)と続いてお祝いの言葉を綴られた。

可愛いお孫さん5名による花束贈呈で場内は、一気に和んだ空気に包まれた。

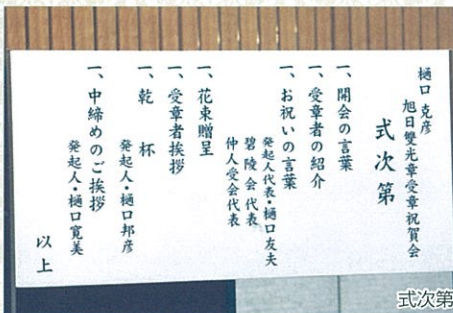
受章者挨拶では、親族への感謝の言葉を述べて、参加者への謝辞を述べられました。

樋口邦彦(発起人)の「乾杯」の発声で和やかなパーティーへ移りました。

楽しい時間は、あっという間に過ぎて、お礼の言葉(中締め)は樋口寛美(樋口家次男)が家業繁栄と会長の健康を祈願して御礼の言葉として締めくくりました。



会場ステージ



式次第



山中満様



樋口社長



杉原専務



樋口寛美様



花束贈呈



会長夫妻



樋口邦彦様



仲人受会



立礼風景



会場全景

お祝いメッセージ

大阪商工会議所 南支部 櫻本政士様

このたびは栄えある旭日双光章のご受章誠にありがとうございます。企業経営、産業振興はもとより、業界団体や地域社会の発展に尽力された数々のご功績の賜物と大阪商工会議所並びに異業種交流会「Sネット」会員一同、心よりお慶び申し上げます。

樋口会長の誠実なお人柄を慕う経営者は多く、今後とも「Sネット」の会長として後進の指導や地域社会の繁栄になお一層、お力添えいただきたくお願い申し上げます。今後ますますのご健勝、御社並びに業界のご発展をお祈り申し上げ、簡単ではございますが、お祝いの言葉とさせていただきます。

(一社) 全日本特殊鋼流通協会大阪支部 事務局長 山口隆徳様

この度は、旭日双光章を叙勲なされましたこと、誠にめでたく、心よりお祝いを申し上げます。

当協会での数多くのご功績のなかでも、大阪支部長時代に築かれた支部会員の声を汲み取ったブロック会議取組みは、現在の支部コンセプト「懇親/交流からの会員相互の信頼構築」へと実を結んでおります。

事務局として、会員の皆様と培ってきた信頼構築をますます発展すべく今後取組んでまいります。

引き続きのご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

古川鋼材株式会社 取締役会長 古川昌克様

この度の双日双光章受章は先代会長の勲四等瑞宝章と親子二代に渡って栄誉を受けられました事を心からお慶び申し上げます。

永きに渡り業界並びに地域社会発展に貢献されました努力には頭が下がる思いでございます。

又、近江商人の理想を追求めて来られた事が、今大きな実を結んだと感じて居ります。今後はより一層健康にご留意され、益々元気で活躍されます事を心からお祈り致します。

東洋発條工業株式会社 取締役社長 篠田行生様

今春、旭日双光章をご受章されましたこと、誠にめでたうございました。

長年の活動を通じて業界や地域社会に貢献され、そのご努力とご精励が実を結んだことと存じます。

貴社と弊社との出会いは1965年に座金用の特殊鋼を供給頂いた事から始まり、いつの間にか半世紀に近い歳月が過ぎました。その当時は弊社も創業の大阪市生野区で古い木造社屋と工場で操業しており、今から考えますと新規に取引頂けるような会社では無かったはずですが、おかげさまでご縁があり今日のようなお付き合いを頂くようになりました。

樋口会長に一番お世話になりましたのは平成9年に弊社の先代社長がなくなりました時、急なことにも関わらず葬儀委員長をお引き受け頂いたことでした。先代社長とはお互いに大阪の中小企業の社長同士という誼でお引き受け頂いたものと、今も感謝致しております。

なお樋口会長には今後ともご健康に留意され、ますますご活躍されますことを心よりお祈り申し上げます。

東海パネ工業株式会社 代表取締役社長 渡辺良機様

この度の旭日双光章叙勲にあたり、我が事の様に喜びが込み上げてきます。

140年の長きに及ぶ歴史の中で、幾多の困難を乗り越え近江商人の神髄である“三方よし”の経営をブレなく貫いてこられた経営手腕は中小企業のお手本だと思います。

樋口会長に初めてお会いしたときの印象は“なんて笑顔が素敵の人”と思いました。

長い年月が過ぎましたが、この印象は今も変わらず心に残っています。

社長業という超多忙な状況下において、業界・異業種の要職を長年こなされた利他の精神が今回の叙勲に繋がったのではと思っています。

これからもお元気で活躍されます事をお祈りいたします。